



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年2月5日

上場会社名 株式会社 バロー 上場取引所 東名
 コード番号 9956 URL <http://www.valor.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田代 正美
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務本部長 (氏名) 志津 幸彦 (TEL) 0572-20-0804
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	340,230	4.1	10,531	△16.0	11,345	△14.7	6,676	△1.6
25年3月期第3四半期	326,685	5.3	12,535	10.7	13,300	11.4	6,787	20.9

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 6,807百万円 (0.7%) 25年3月期第3四半期6,760百万円 (15.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	129.65	129.54
25年3月期第3四半期	132.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	235,675	80,656	34.0
25年3月期	213,629	75,466	35.1

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 80,122百万円 25年3月期 74,887百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	14.00	—	15.00	29.00
26年3月期	—	15.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	460,000	6.7	17,400	9.8	18,000	6.9	9,200	12.4	178.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	52,661,699株	25年3月期	52,661,699株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	1,172,705株	25年3月期	1,172,565株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	51,489,076株	25年3月期3Q	51,228,706株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策への期待による株式市場の好況や円安を背景に、製造業等を中心に景気回復の傾向があるものの、海外経済の減速・停滞などから、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、業態を超えた出店政策の強化や価格競争の激化等により、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループでは積極出店による事業規模の拡大を図ると共に、より高品質・低価格を目指した独自商品の開発と、従業員教育の充実によるサービスレベルの向上等により、店舗における営業力の強化を進めてまいりました。これによりグループ全体の店舗数は、当第3四半期末現在で599店舗となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は前年同期比4.1%増の3,402億30百万円となりました。また、営業利益は前年同期比16.0%減の105億31百万円に、経常利益は前年同期比14.7%減の113億45百万円に、四半期純利益は前年同期比1.6%減の66億76百万円となり、それぞれ減益となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

<スーパーマーケット(SM)事業>

SM事業の営業収益は2,352億26百万円(前年同期比2.2%増)、営業利益は62億30百万円(前年同期比25.8%減)となりました。

基幹事業であるSM事業につきましては、引き続き業容拡大と営業力強化の両面に注力いたしました。店舗につきましては、SMパロー16店舗を出店し、当第3四半期末現在のSM店舗数は、グループ合計で251店舗となりました。

商品政策では、ご好評をいただいている自主企画商品(PB商品)の開発を一層強化し、より高い価値をよりお値打ちな価格でご提供するよう努めました。

また、7月には静岡県島田市に「静岡物流センター」、8月には岐阜県可児市に「可児チルド物流センター」を開設するとともに、9月には岐阜県大垣市に「大垣畜産プロセスセンター」、岐阜県可児市に「青果プロセスセンター」を新設し、物流機能の強化及び店舗業務の効率化を進めております。さらに10月1日付けにて子会社の福井県を中心に30店舗を有する株式会社ユースを吸収合併し、北陸地域における営業力の強化と間接業務の効率化を進めております。

SMパロー既存店の売上高は、前年同期比で4.5%減少いたしました。新たに開店した店舗の寄与により、事業全体では増収を確保いたしました。

<ホームセンター(HC)事業>

HC事業の営業収益は348億25百万円(前年同期比4.0%増)、営業利益は18億45百万円(前年同期比3.2%増)となりました。

同事業につきましては、専門性の強化や品揃えの充実等により、既存店の売上高は前年同期比で0.9%増と前年レベルを維持いたしました。

同事業においては、4月に稲沢平和店内に近隣農家からの直売等を行う「Vファーマーズ」を開設し、青果等の販売とともに農家との連携の強化を推進しております。また、11月には羽島インター店において、自動車タイヤの販売及び取付・保管サービスを行う「タイヤ市場」を新たに設置し、お客様のニーズにお応えするよう努めて参りました。

出店及び退店はなく、当第3四半期末現在の店舗数は35店舗であります。

<ドラッグストア事業>

ドラッグストア事業の営業収益は541億13百万円(前年同期比15.1%増)、営業利益は14億9百万円(前年同期比19.9%増)となりました。

同事業につきましては、25店舗を新たに開店し、当第3四半期末現在の店舗数は238店舗となりました。低価格戦略を推進する販売促進企画や食品部門の強化などにより、既存店の売上高は前年同期比で6.2%増加いたしました。

<スポーツクラブ事業>

スポーツクラブ事業の営業収益は66億95百万円(前年同期比1.6%増)、営業利益は2億79百万円(前年同期比4.3%減)となりました。

同事業につきましては、4月に京都市に「ファーストフィットネスクラブ京都」、9月には三重県鈴鹿市に「アクトスWill鈴鹿」を出店し、当第3四半期末現在の店舗数は54店舗となりました。

<流通関連事業>

流通関連事業の営業収益は53億95百万円(前年同期比4.4%増)、営業利益は23億38百万円(前年同期比5.

1%減)となりました。

流通事業に関連するその他のグループ企業では、店舗網の拡大に的確に対応するためのインフラ整備や、サービスレベルの維持向上を図ってまいりました。

<その他の事業>

その他の事業の営業収益は39億74百万円(前年同期比5.5%減)、営業利益は3億2百万円(前年同期比2.7%減)となりました。

その他の事業につきましては、ペットショップ事業、衣料品等の販売業及び保険代理店等であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ220億45百万円増加し、2,356億75百万円となりました。これは主に現金及び預金35億17百万円、棚卸資産50億67百万円及び有形固定資産115億99百万円の増加によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ168億55百万円増加し、1,550億18百万円となりました。これは主に、買掛金89億98百万円、短期借入金44億78百万円及び長期借入金26億53百万円の増加によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ51億90百万円増加し、806億56百万円となり、自己資本比率は34.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績につきましては、平成24年5月10日決算発表時の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,873	19,390
受取手形及び売掛金	5,036	5,948
商品及び製品	21,943	26,948
原材料及び貯蔵品	340	402
その他	8,515	7,500
貸倒引当金	△10	△19
流動資産合計	51,699	60,170
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	72,766	81,144
土地	35,402	35,543
その他(純額)	13,395	16,477
有形固定資産合計	121,564	133,164
無形固定資産		
のれん	546	421
その他	5,915	6,133
無形固定資産合計	6,462	6,555
投資その他の資産		
差入保証金	23,910	25,407
その他	10,503	10,938
貸倒引当金	△510	△560
投資その他の資産合計	33,903	35,785
固定資産合計	161,930	175,504
資産合計	213,629	235,675

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	28,977	37,976
短期借入金	30,627	35,105
未払法人税等	3,391	854
賞与引当金	2,006	788
引当金	591	632
資産除去債務	—	3
その他	13,408	15,648
流動負債合計	79,003	91,008
固定負債		
社債	7,127	7,042
長期借入金	32,671	35,325
退職給付引当金	2,490	2,341
引当金	1,559	1,508
負ののれん	83	52
資産除去債務	3,851	4,161
その他	11,374	13,578
固定負債合計	59,159	64,010
負債合計	138,163	155,018
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,916	11,916
資本剰余金	12,676	12,676
利益剰余金	51,543	56,674
自己株式	△1,500	△1,500
株主資本合計	74,636	79,767
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	166	190
為替換算調整勘定	84	164
その他の包括利益累計額合計	251	354
新株予約権	46	58
少数株主持分	532	476
純資産合計	75,466	80,656
負債純資産合計	213,629	235,675

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	315,197	328,022
売上原価	239,122	249,626
売上総利益	76,074	78,395
営業収入	11,488	12,208
営業総利益	87,563	90,604
販売費及び一般管理費	75,027	80,072
営業利益	12,535	10,531
営業外収益		
受取利息	111	121
受取配当金	28	29
負ののれん償却額	37	31
受取事務手数料	535	567
受取賃貸料	641	648
持分法による投資利益	19	26
その他	852	1,001
営業外収益合計	2,225	2,425
営業外費用		
支払利息	488	558
不動産賃貸原価	922	1,010
その他	49	43
営業外費用合計	1,461	1,611
経常利益	13,300	11,345
特別利益		
固定資産売却益	5	8
債務保証損失引当金戻入額	116	43
補助金収入	77	—
持分法による投資利益	30	—
負ののれん発生益	—	43
その他	18	15
特別利益合計	249	110
特別損失		
固定資産売却損	37	0
固定資産除却損	43	141
減損損失	258	150
投資有価証券評価損	2	6
その他	138	150
特別損失合計	480	448
税金等調整前四半期純利益	13,068	11,007
法人税、住民税及び事業税	4,536	3,915
法人税等調整額	1,735	388
法人税等合計	6,271	4,304
少数株主損益調整前四半期純利益	6,796	6,703
少数株主利益	9	27
四半期純利益	6,787	6,676

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,796	6,703
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33	29
為替換算調整勘定	△3	74
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	△36	104
四半期包括利益	6,760	6,807
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,766	6,779
少数株主に係る四半期包括利益	△5	27

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	13,068	11,007
減価償却費	7,423	8,072
減損損失	258	150
のれん償却額	311	94
負ののれん発生益	—	△43
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5	59
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	200	△150
受取利息及び受取配当金	△139	△150
支払利息	488	558
持分法による投資損益 (△は益)	△50	△26
固定資産除却損	43	141
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,175	△891
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,947	△5,055
仕入債務の増減額 (△は減少)	8,478	8,901
その他	1,202	1,411
小計	26,169	24,079
利息及び配当金の受取額	32	50
利息の支払額	△408	△516
法人税等の支払額	△6,900	△6,343
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,893	17,270
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△14,802	△16,526
有形固定資産の売却による収入	179	12
無形固定資産の取得による支出	△504	△489
差入保証金の差入による支出	△1,941	△2,403
差入保証金の回収による収入	721	793
預り保証金の受入による収入	250	475
預り保証金の返還による支出	△347	△298
その他	△786	△174
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,230	△18,610
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	6,456	4,658
長期借入れによる収入	9,300	10,300
長期借入金の返済による支出	△6,054	△7,826
社債の償還による支出	△3,685	△85
配当金の支払額	△1,392	△1,504
その他	△478	△664
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,146	4,877
現金及び現金同等物に係る換算差額	△18	37
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,790	3,574
現金及び現金同等物の期首残高	12,676	15,764
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,467	19,339

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	スーパー マーケット 事業	ホームセ ンター事 業	ドラッグ ストア事 業	スポーツ クラブ事 業	流通関連 事業	計		
営業収益								
外部顧客への営業収益	230,242	33,487	46,994	6,587	5,166	322,479	4,206	326,685
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	1,656	16	7	1	16,271	17,953	146	18,100
計	231,898	33,504	47,002	6,588	21,438	340,432	4,353	344,786
セグメント利益	8,394	1,788	1,175	292	2,465	14,115	311	14,427

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットショップの営業、衣料品等の販売業及び保険代理店等であります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	14,115
「その他」の区分の利益	311
セグメント間取引消去	538
全社費用(注)	△2,429
四半期連結損益計算書の営業利益	12,535

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	スーパー マーケット 事業	ホームセ ンター事 業	ドラッグ ストア事 業	スポーツ クラブ事 業	流通関連 事業	計		
営業収益								
外部顧客への営業収益	235,226	34,825	54,113	6,695	5,395	336,256	3,974	340,230
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	2,200	68	10	1	19,130	21,412	355	21,768
計	237,426	34,894	54,124	6,697	24,525	357,668	4,330	361,998
セグメント利益	6,230	1,845	1,409	279	2,338	12,102	302	12,405

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットショップの営業、衣料品等の販売業及び保険代理店等であります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	12,102
「その他」の区分の利益	302
セグメント間取引消去	457
全社費用(注)	△2,331
四半期連結損益計算書の営業利益	10,531

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。